

高梁川流域 キッズ

たかはしがわりゆういき

高梁川流域の

でんとうてき

ぎょうじ

げいのう

伝統的な行事と芸能

ちのわくぐり

茅の輪くぐり

新高総早
見梁社島
市市市町

倉敷市

矢井浅里笠
掛原口庄岡
町市市町市



かん けい ば しょ
関係のある場所

- あ ち じ ん じ ゃ
・阿智神社
- あ し た か じ ん じ ゃ
・足高神社
- お ん ぎ き じ ん じ ゃ
・御崎神社



この行事について

「茅の輪くぐり」は、正月から6月末までの半年間の役を祓う、夏越の祓の行事です。これから迎える暑い夏を病気等をせず、無事に乗り越えられるようにと、残り半年の無病息災を願うための行事です。

茅の輪とは、チガヤで作った輪のことで、神社の参道に設置します。参拝者は、この輪をくぐって無病息災を願います。くぐり方は一般的には、初めに、茅の輪の前に立ち、一礼してくぐります。左廻り、右廻り、左廻りの3回茅の輪をくぐり、最後に神前に進んでお参りします。茅の輪をくぐるごとに一礼してからくぐります。

「茅の輪くぐり」の始まりは、『備後国風土記』の蘇民将来の子孫が神の教えにより茅の輪を腰に下げたら疫病を免れた話にちなんでいると伝えられています。この行事は各地区の神社で行われており、阿智神社、足高神社、船穂地区の御崎神社などでも行われています。

